

～ All for one, One for all. ～



光の家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設
東京光の家会報

— 217 号 —

2022 年 8 月 1 日発行

あらゆる良い贈り物、あらゆる完全な賜物は、上から、光の父から下って来る。父には、変化とか回転の影とかいいうものはない。父は、わたしたちを、いわば被造物の初穂とするために、真理の言葉によって御旨のままに、生み出して下さったのである。

ヤコブの手紙

第一章 十七節～十八節



情熱と迫力のフラメンコ!!

巻頭言

八月に入り、日差しも強く照りつけるようになっていますが、いかがお過ごしでしょうか。

今回の外部寄稿は長年、光の家の田中前理事長と親交を深め合っていた聖明園の本間会長様から「歴史を大切にすることの意義」という題で頂きました。

その内容から東京光の家が一〇〇年の歴史を刻みながらキリスト教の「愛の実践」の精神で盲人に愛を注ぎ続けていることが、利用者一人一人の幸せな暮らしに繋がっているという大変、光栄なお話を頂き、深く感謝申し上げます。

また、本間会長がおっしゃる「継続は力なり」の通り、光の家はバザー、障害者スポーツ大会、愛のサウンドフェスティバル等、利用者への基本方針である「生活には喜びを」を実現させるために今後も継続していきたいと思っています。

(理事長 石渡 健太郎)

歴史を大切にすることの意義

社会福祉法人聖明福祉協会 会長 本間 昭雄



川は流れて留まることを知りません。時もまた留まることなく過ぎ去ってまいります。国家にも企業にも社会福祉法人にも、さらには家庭にも個人にも、積み重ねてきた歴史があります。山形県には、千年の時を眺めてきた桜の銘木があります。私どもの敷地には、その歴史を受け継いだ桜から移植された桜が、日一日と育っております。

二〇〇九年に、桜の苗木を二本ご寄贈頂きました。そのうち
福祉の世界においては、明

一本は、山形県指定天然記念物である樹齢一三〇年の薬師桜（エドヒガン桜）の芽から育てた若木を、芽を摘んだ親樹に接いで育てた苗木です。親樹の遺伝子を完全に受け継ぐ「分身」であり、親樹と同じ樹命を持つ千年桜と言われています。もう一本は聖明福祉協会創立五〇周年を記念して、長野市の指定天然記念物のシダレ桜から育てた苗木です。樹齢四三〇年の親樹は天宗寺境内にあり、本堂に向かって合掌するように枝を広げている姿から「合掌桜」と呼ばれ、参拝する人々の信仰を集めています。千年・二千年の後までも聖明園の弥栄を願い、この二本の桜を庭に迎えました。そして聖明園を千年後の人々に託す思いを込めて、二本の桜を慈しんでおります。

良き種は太陽の恵み、水の恵み、豊かな土の恵みによって育ちます。三代目石渡健太郎理事長も、先代理事長のお姿を偲びつつ、東京光の家の歴史を継承しておられます。私が九十三歳となった今でも、こうして社会事業を営む者同士で交流が出来ることに大変感謝しております。東京光の家の益々の事業の発展を願って本稿を閉じたいと存じます。

の一本は、山形県指定天然記念物である樹齢一三〇年の薬師桜（エドヒガン桜）の芽から育てた若木を、芽を摘んだ親樹に接いで育てた苗木です。親樹の遺伝子を完全に受け継ぐ「分身」であり、親樹と同じ樹命を持つ千年桜と言われています。もう一本は聖明福祉協会創立五〇周年を記念して、長野市の指定天然記念物のシダレ桜から育てた苗木です。樹齢四三〇年の親樹は天宗寺境内にあり、本堂に向かって合掌するように枝を広げている姿から「合掌桜」と呼ばれ、参拝する人々の信仰を集めています。千年・二千年の後までも聖明園の弥栄を願い、この二本の桜を庭に迎えました。そして聖明園を千年後の人々に託す思いを込めて、二本の桜を慈しんでおります。

治時代の先駆者によって小さな種が播かれ、やがて制度を生み、社会の変化とともに整備拡大されてきました。東京光の家も創立から一〇〇年の歴史を刻み、今や一一〇年への歩みを続けております。創業者秋元梅吉先生、二代目の田中亮治先生とは、大変親しくご厚誼を頂いてまいりました。日盲社協の草創期、秋元先生とともに盲人の福祉や制度のあり方について議論したことを思い出します。今日、日盲社協の会合などに出席をするとき、私の脳裏から離れないのは、田中亮治先生の想い出です。信頼の絆は時を刻むごとに深まり、尊敬の念を深くしたものです。キリスト教の「愛の実践」の精神が源となり、時の流れとともに水の流れるごとくに光の家は多くの盲人に愛を注いでこられました。光の家が福祉の歴史に果たしてきた役割は誠に大きく、神の御心に沿った成果は一人一人の利用者の幸せな暮らしに表れております。これ

も一〇〇年を超す時の流れ、尊い歴史の具現であります。「継続は力なり」と申します。この言葉は、一八七四年、大分県に生まれた久留島武彦が残した名言であります。同氏は児童文学者であり、教育者でありました。しかも熱心なクリスチャンだったので。日本のアンデルセンとも言われた人です。久留島の講演活動などすべての基本は、キリスト教の愛に始まり、それを川の流れのごとく間断なく実践し続けたところに大きな意義があると思います。

光の家の新型コロナウイルス対策
定期検査強化
四回目ワクチン接種

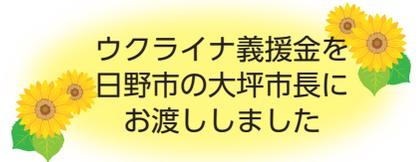
光の家ではこれまで行っていた週一回の全職員PCR検査に加え、今年四月からは、週一回の抗原検査を実施しています。

しかし、七月には、ウイルス感染の第七波の到来とともに、光の家就労ホームを中心に、十名の新型コロナウイルス感染が発生しました。光の家では、四回目のワクチン接種も進めており、今後も検査や予防の手を緩めることなく、感染の終息と再発防止に努めて参ります。



週1回行っている抗原検査キット

ウクライナ義援金を
 日野市の大坪市長に
 お渡ししました



光の家では、ロシアの侵攻により苦しまれているウクライナの皆様に励ますための義援金を職員、利用者募り、日野市の大坪市長に託しました。

日野市は、東京オリンピックに参加したウクライナ空手チームのホストタウンを務め、ウクライナとは深い縁があります。光の家から贈られた義援金六十万円は、日野市で受け入れるウクライナ避難民の方々の支援事業等に使われる予定とのことです。



ウクライナ義援金をお渡ししました

澤田 評議員
 藍綬褒章受章

東京光の家の評議員、そして愛のサウンド後援会の会長を務めて頂いている澤田研二評議員が、令和三年春の褒章において、藍綬褒章を受章されました。長年にわたる保護司としての更生保護活動の功績が認められた受章でした。今年の四月二十四日には、京王プラザホテル多摩において、「澤田研二氏藍綬褒章受章祝賀会」が開催されました。おめでとございます。



澤田研二氏藍綬褒章受章祝賀会

法人役員

理事長

石 渡 健太郎

理事

小 亀 岡 寛 治
 杉 山 美 穂
 石 月 本 昭 幸 美
 渡 本 幸 美

監事

藤 白 井 富 士 夫
 田 井 洋

顧問

杉 相 澤 忠 一
 山 澤 閑 男

評議員

安 岩 梅 加 澤 山 横
 藤 佐 田 藤 下 引
 玲 俊 保 研 公
 子 幸 武 二 望

光の家新生園

社会見学

◆ 令和四年六月二十八日(火)
 場所…山梨・桃狩り／東京・多摩六都科学館
 ◆ 令和四年六月三十日(木)
 場所…山梨・桃狩り／埼玉・鉄道博物館



桃狩り、最高!!

新生園では「観る、聴く、触れる」などの体験を目的とした一日行事を行いました。各自で複数の行き先から行きたい場所を選び、楽しい時間を過ごしてきました。

山梨の桃狩りでは、木になったたくさんの桃に一生懸命、手を伸ばし、甘い香りを楽しみつつ、もぎたての桃に舌鼓しました。多摩六都科学館に参加した



無重力って不思議な感覚だなぁ～

利用者は、からだ・自然・地球のしくみについて学び、地球コーナーでは無重力体験をしました。また埼玉・鉄道博物館では鉄道のジオラマ鑑賞や蒸気機関車「D51」のシミュレータにて疑似体験をしました。

何かにつけて「コロナ」、「コロナ」と叫ばれる昨今ですが、日常生活から少し離れ、良い経験をすることができました。

光の家栄光園

ハイキング

◆ 令和四年五月十二日(木)、
 十七日(火)、二十三日(月)
 場所…高尾山、昭和記念公園、
 旭が丘中央公園、多摩平第一公園



さあ、高尾山に登るぞ!

栄光園のハイキングは、コロナの大流行で令和二年度は内部での食事会、昨年度は旧伊勢丹倉庫でレクリエーションを行い、ハイキングらしいことが出来ませんでした。

今年度は制限がありましたが高尾山、昭和記念公園、近場の旭が丘中央公園、多摩平第一公園の四か所を三日間に分け分散し、なるべく少人数でハイキングに出かけました。係としては



昭和記念公園で花に囲まれて

制限がある中で、なかなか企画が定まらず、大変ご迷惑をかけたしまいました。そんな中でも、利用者が「久しぶりに高尾山に登れてよかった」「カナン弁当が美味しかった」等の話がありました。

この先、コロナがどうなるかわかりませんが、職員としては、少しでも利用者が楽しめる行事の企画をすることの大切さを感じました。

光の家神愛園

一泊旅行

◆ 令和四年五月十八日(水)、
六月八日(水)、六月二十一日(火)
場所… かんぼの宿青梅
◆ 令和四年七月五日(火)～六日(水)
場所… 那須高原



子牛のミルク飲み楽しいなあ～♪



エキシブ那須の庭園で記念撮影

今年度も日程を三日間に分けた少人数制の青梅への旅行と、避暑地である那須高原に一泊旅行に行ってきました。青梅へは車で一時間弱で行く事が出来、今年もかんぼの宿でゆっくりとした時間を過ごすことが出来ました。また、那須へは今年も公共の交通機関である電車・新幹線を利用して行つて

きました。天気にも恵まれ、牧場で仔牛にミルクを与える体験や、ホテルでは豪華なフレンチ、和食御膳と美味しい料理を堪能することが出来ました。まだまだコロナウィルスの終息が見えない中ではありますが、来年もまた皆さんで元気に旅行へ行けるように願いたいと思います。

光の家 就労ホーム

レク大会

◆ 令和四年五月十二日(木)
場所… 光の家ワークフレイセンター



簡易版ポッチャ



玉入れ

就労ホームでは、コロナ感染リスクを鑑み、ハイキングをレク大会に変更して行いました。昼食はカナンの食事を、就労ホーム内で四箇所に分かれ、みんなで楽しいランチタイムを過ごしました。レク大会の為の特別スイーツもあり、大満足でした。お腹もいっぱいになった後は、身体をたくさん動かす内容で、パラスポーツにもなつてい

き、良い気分転換となりました。大きい身体を動かすことができ、良い気分転換となりました。就労ホームでは、コロナ感染リスクを鑑み、ハイキングをレク大会に変更して行いました。昼食はカナンの食事を、就労ホーム内で四箇所に分かれ、みんなで楽しいランチタイムを過ごしました。レク大会の為の特別スイーツもあり、大満足でした。お腹もいっぱいになった後は、自然と仲間を応援したり、競技に夢中になったりと、大興奮でした。



今年の点字教室は、定員二十名に対し、予約で満席になるほど盛況の中での開催でした。

点字の仕組みを学び、実際に読み書きの練習をして、最後には生活用品の名前を点字にして、視覚障害の方々に伝えてみるという体験型の教室となりました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。



点字の仕組みを学びました

大和証券より 寄附金を頂きました

この度、大和証券株式会社様より、寄附金を頂きました。大和証券様は、毎年光の家のバザーに多数の提供品を下されるなど、光の家の活動を深く理解して下さっている企業です。

今回頂いた寄附金は、大和証券グループが、創業百二十周年を迎えることを記念した、「大和証券グループ百二十周年記念 こどもの未来プロジェクト」の寄附金とこのとです。



大和証券国立支店長からの寄附金



タップの足音がすごい！！

エイデル研究所の和田氏がギターリストとして参加しているフラメンコ団の六名のみなさんが、三年ぶりに光の家講堂で、本格的なフラメンコの演舞を披露してくれました。ギターの調べに加え気迫のこもったタップと、小気味よいカスタネットの演奏で、フラメンコダンスを見ることができない視覚障害の利用者も、本格的なフラメンコの迫力を堪能することができた



フラメンコ団全員集合！



利用者とのふれあい

ではないでしょうか。フラメンコ団のみなさん、ありがとうございました。

光の家新生園
就労ホーム

障害者スポーツ大会

◆令和四年五月二十二日(日) 就労ホーム
◆令和四年五月二十八日(土) 新生園
場所・駒沢オリンピック公園総合運動場



ハイジャンプ!!



エイ!!

「三年ぶり再開へ」新型コロナで延期されていた障害者スポーツ大会が駒沢で行われました。感染症対策の一環として、無観客での開催ですが、光の家の利用者をはじめ、多くの方々がメダル獲得を目指して、精一杯競技に取り組みました。

今年大会は各選手がエントリーできる種目を、一種目のみとする制限がありました。しかし出場した皆さんからは、「競技に参加できて良かった。」「来年はもっと練習して出場したい。」との前向きな意見が聞かれ、以前のような開催状況には戻っていませんが、スポーツを通して身体を動かす喜びや楽しさ、選手関係者とのつながりを実感できた大会になったと感じました。

来年はぜひ通常開催を期待したいと思います。



走れ～走れ～



まっすぐ走れるかな?!



ボールよ! 高く飛べ～

メダル取ってピース!

寄付者名簿

令和四年三月七日
～七月八日

松橋敬様 アイス 三〇五本

ほうれん草餃子 二五パック
枝豆 一〇kg

東京都福祉保健局生活福祉部保護課
中屋様、中谷様

サージカルマスク 一〇〇〇枚
PVC 手袋 二〇〇〇双

東京都障害者施策推進部 施設サービス
支援課障害者支援担当 安達様

PE 手袋 二五〇〇双
PVC 手袋 四〇〇〇双

サージカルマスク 二〇〇〇枚
PE 手袋 五〇〇〇双

宮田容子様 雑巾 一〇〇枚
伊藤和子様 苺 三箱

土屋いち子様 キャベツ 二〇kg
さくらんぼ 三kg

大和証券グループ 大和証券グループ百二十
周年記念ごどもの未来プロジェクト様

河村正様 麦茶 金十万円
綾木潔様 スイカ 二二〇本
一〇玉



光バンドチャリティーコンサート 愛のサウンドフェスティバル



- ◆日時：令和四年九月二十四日(土)
開場一四時・開演一五時
- ◆会場：ひの煉瓦ホール(日野市民会館)
東京都日野市神明一―二―
- ◆交通：JR 中央線日野駅より徒歩一五分
バス：JR 中央線日野駅から「高幡不動駅」行き、
または京王線高幡不動駅から「日野駅」行きに乗り、
「日野市役所」バス停下車
- ◆福祉協力券：一枚二、〇〇〇円
- ◆司会：高田 敏江(女優)
- ◆お問い合わせ先：社会福祉法人 東京光の家
電話 〇四二(五八二)二三四〇

このコンサートの売上金の一部を福祉団体及び日野市(ウクライナ義援金)に寄付致します。



光バンド レコーディングお疲れ様でした！

六月一四日(火)、一五日(水)の二日間に渡り、光バンドのオリジナルソング「光あれ」をはじめ、全一〇曲を収録したニューアルバムのレコーディングを行いました。九月二十四日のコンサート時に販売する予定です。



発行 一九九一〇〇六五
東京都日野市旭が丘一―七―一七
社会福祉法人 東京光の家
電話 〇四二(五八二)二三四〇
FAX 〇四二(五八二)九五六八

**第45回 東京光の家
チャリティーバザーに
物品提供を**

東京光の家のチャリティーバザーに多くの皆様のご協力をお願いいたします。

★期日 一〇月一〇日(月) 一〇時より

★会場 東京光の家 旧伊勢丹倉庫

★提供品についての希望
日用品・おもちゃ・文具・雑貨品・食器・食品・衣料品(新品同様のもの)・古本・CD・DVD等

★お断りしているもの
家具・中古の電気製品・布団・雛人形・五月人形・ゴルフセット・スキー等

★提供品受付期間
九月末頃まで

※ご連絡頂ければ回収にお伺い致します(多摩地区のみ)。